

令和3年度

3年次編入学学生募集要項

令和2年6月8日 修正版

茨城大学工学部

# 目 次

I . 募集人員 . . . . .	1
II . 編入学の時期 . . . . .	1
III . 入学者の選抜方法 . . . . .	1
IV . 推薦入試 . . . . .	1
V . 一般入試 . . . . .	4
VI . 注意事項 . . . . .	7
VII . 障害等のある入学志願者の事前相談 . . . . .	8
VIII . 茨城大学入学者選抜試験における災害救助法等の適用地域の 被災者に対する入学検定料免除の特別措置について . . .	9
IX . 入学手続等 . . . . .	9
X . 既修得単位の認定及び編入学後の履修 . . . . .	1 1
XI . その他 . . . . .	1 1
XII . 案内 . . . . .	1 2

## 添 付 書 類

この募集要項には、次の書類が添付されている。

- 1 . 入学志願者名票（推薦入試用・一般入試用）
- 2 . 受験票・写真票（推薦入試用・一般入試用）
- 3 . 推薦書
- 4 . 宛名票
- 5 . 検定料払込用紙
- 6 . 入学願書提出用封筒（角形2号）
- 7 . 受験票等送付用封筒（長形3号）

## I. 募集人員（20名）

コース	学科	募集人員	
		推薦入試	一般入試
昼間 コース	機械システム工学科	4名	2名
	電気電子システム工学科	2名	3名
	物質科学工学科	1名	2名
	情報工学科	2名	2名
	都市システム工学科	1名	1名
合計		20名	

## II. 編入学の時期

入学の時期は令和3年4月とし、3年次に編入学するものとする。

## III. 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、「推薦入試」と「一般入試」の2つの方法で行います。

## IV. 推薦入試

### 1. 出願資格

- (1) 短期大学を令和2年3月に卒業した者及び令和3年3月31日までに卒業見込みの者で、人物及び学力がともに優れ、出身短期大学の学長又は学部長が責任をもって推薦できる者
- (2) 高等専門学校を令和2年3月に卒業した者及び令和3年3月31日までに卒業見込みの者で、人物及び学力がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者

### 2. 出願手続

出願書類等は一括し、出身学校から直接提出してください。

- (1) 出願期間及び方法 **令和2年6月22日（月）から6月24日（水）まで（期間内必着）**  
出願書類は、本学所定の「入学願書提出用封筒」を用い、**速達書留郵便**で郵送してください。  
複数の志願者の出願書類をまとめて送付する場合は、志願者1名ごとに本学所定の「入学願書提出用封筒」に出願書類を封入し、それらの個人別封筒を取りまとめ、志願学部を記載した**志願者の名簿**を添えて別の大型封筒に入れ、「**入学願書〇名分在中**」と**朱書**して速達書留郵便で郵送してください。

**新型コロナウイルス感染症予防対策として、出願書類は郵送してください。**

## (2) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 志 願 者 名 票	本学部所定の用紙に必要事項を記入してください。 (推薦入試用を使用してください。)
受 験 票 ・ 写 真 票	本学部所定の用紙に必要事項を記入してください。 (推薦入試用を使用してください。) 写真(縦4cm×横3cm)は、上半身正面無帽、出願前3か月以内に撮影したものを写真貼付欄に貼付してください。
最 終 出 身 学 校 の 学 業 成 績 証 明 書	修得単位数が明記されたもので、出身学校長(短期大学においては学長又は学部長)が作成し、厳封したもの。
推 薦 書	本学部所定の用紙により出身学校長(短期大学においては学長又は学部長)が作成し、厳封したもの。
最 終 出 身 学 校 の 卒 業 (見 込) 証 明 書	出身学校長(短期大学においては学長又は学部長)が作成したもの。
振替払込受付証明書 ( 検 定 料 )	<p>30,000円(納入期限:令和2年6月24日(水))</p> <p>【納入方法】</p> <p>ア 別添の払込用紙(5枚綴りの専用紙)を最寄りの金融機関に持参して納入してください。郵便局、銀行、信用金庫、農協など全国の金融機関窓口で納入できます。</p> <p>イ 振替払込受付証明書と振替払込請求書兼受領証は、金融機関の受領印がある事を確認の上、受け取ってください。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>『振替払込受付証明書(お客さま用)』は、他の出願書類と併せて「入学願書提出用封筒」に封入し提出してください。</b></p> <p><b>なお、『振替払込請求書兼受領証』は本人の控えですので、提出する必要はありません。受験票が手元に届くまで大切に保管しておいてください。</b></p> </div> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>必ず金融機関の窓口にて納入してください。 ※ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。</li> <li>振込時の振込手数料は、振込人負担となります。</li> <li>払込用紙(5枚綴りの専用紙)の「通信欄」、「ご依頼人」等欄の「No.」は、受験番号ではありません。</li> <li><b>入学願書を受理した後は、振込済の検定料は返還できません。</b> ただし、検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、検定料の返還請求ができますので、下記(3)「出願書類等の提出先」に申し出てください。なお、返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。</li> </ol>
住 民 票 (外国人留学生のみ)	外国人留学生は、市区町村長から交付された在留資格及び在留期間が明記されたものを提出してください。
受 験 票 等 送 付 用 封 筒	本学部所定の封筒に速達郵便切手374円を貼付し、受験票を受け取ることが可能なあて先(住所、氏名、郵便番号)を記入してください。 (団地、アパート等名、棟、号も記入してください。)
宛 名 票	本学部所定の用紙に、合格通知書及び入学手続書類を受け取ることが可能なあて先(住所、氏名、郵便番号)を記入してください。 (団地、アパート等名、棟、号も記入してください。)

## (3) 出願書類等の提出先

茨城大学工学部入試係

〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

電話 0294-38-5223

### 3. 選抜方法

入学者の選抜は、出身学校長からの推薦書、学業成績証明書及び面接の結果を総合して判定します。

選抜方法	学科	内容及び採点・評価の基準
面接	機械システム工学科	個人面接形式で10分程度で行い、機械システム工学に対する関心・課題意識・適性及び積極性などの資質をみます。
	電気電子システム工学科	個人面接形式で10分程度で行い、電気電子システム工学に対する関心・課題意識・適性及び積極性などの資質をみます。
	物質科学工学科	個人面接形式で10分程度で行い、物質科学工学に対する関心・課題意識・適性及び積極性などの資質をみます。
	情報工学科	個人面接形式で10分程度で行い、情報工学に対する関心・課題意識・適性及び積極性などの資質をみます。
	都市システム工学科	個人面接形式で10分程度で行い、都市システム工学に対する関心・課題意識・適性及び積極性などの資質をみます。

### 4. 配点

コース	学科	学業成績証明書	面接	合計
昼間コース	機械システム工学科	50	150	200
	電気電子システム工学科	50	150	200
	物質科学工学科	50	150	200
	情報工学科	50	150	200
	都市システム工学科	50	150	200

(注) 出身学校長からの推薦書は、面接試験の参考資料として利用します。

### 5. 試験日及び試験場

期 日	試 験 場	区 分	時 間
7月7日(火)	受験者が在学する学校等	面接 (オンライン)	全学科 9時00分以降の 本学が指定する時間

### 6. 合格者の発表

合格者については、令和2年7月22日(水)13時に本学工学部構内に合格者の受験番号を掲示するとともに、本人あてに合格通知書等を速達郵便で送付します。また、推薦者あてには志願者の選考結果を通知します。

なお、本学工学部ホームページ上【<http://www.eng.ibaraki.ac.jp/>】でも合格者の受験番号を発表します(発表当日の14時以降予定)。ただし、ホームページ上での合格者発表は情報提供の一環として行う補助的なものですので、本学工学部構内で行われる合格発表または、合格通知書にて確認してください。

- (注) 1. 合格者発表に関する電話等による照会には、一切応じておりません。  
 2. 合格電報等は取り扱っておりません。  
 3. 不合格者本人には、選考結果を通知しておりません。

## 7. 入学確約書の提出

合格者は、入学確約書を令和2年8月5日（水）までに提出してください。  
 この期日までに提出がない場合には、本学工学部に入学の意志がないものとして取り扱います。

## 8. 推薦入試に不合格となった場合

「推薦入試」において、不合格となった者で「一般入試」の受験を希望する者は、改めて所定の方法で出願してください。  
 ただし、学業成績証明書を、再度提出する必要はありません。

## V. 一般入試

### 1. 出願資格

- (1) 短期大学を卒業した者及び令和3年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 高等専門学校を卒業した者及び令和3年3月31日までに卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修学年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たしたものに限る。）を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者（大学入学資格を有する者に限る。）
- (4) 学士の学位を有する者及び令和3年3月31日までに取得見込みの者
- (5) 修業年限4年以上の大学において、2年以上在学（令和3年3月をもって満2年間在学となる者を含む）し、62単位以上を修得した者又は令和3年3月31日までに修得見込みの者

### 2. 出願手続

- (1) 出願期間及び方法 **令和2年7月22日（水）から7月28日（火）まで（期間内必着）**  
 出願書類は、本学所定の「入学願書提出用封筒」を用い、**速達書留郵便**で郵送してください。  
**新型コロナウイルス感染症予防対策として、出願書類は郵送してください。**

#### (2) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 志 願 者 名 票	本学部所定の用紙に必要事項を記入してください。 （一般入試用を使用してください。）
受 験 票 ・ 写 真 票	本学部所定の用紙に必要事項を記入してください。 （一般入試用を使用してください。） 写真（縦4cm×横3cm）は、上半身正面無帽、出願前3か月以内に撮影したものを写真貼付欄に貼付してください。
最 終 出 身 学 校 の 学 業 成 績 証 明 書	修得単位数が明記されたもので、出身学校長（大学及び短期大学においては学長又は学部長）が作成し、厳封したもの。 ただし、「出願資格（5）」に該当する者で、出願時に62単位以上修得していない者は、履修中の科目及び単位数の明記された証明書を併せて提出してください。また、令和2年度後学期等に履修予定の科目で上記によっても証明できない場合は、その科目名と単位数を明記し、志願者本人が署名、捺印した書類も併せて提出してください。

<p>最終出身学校の 卒業（見込）証明書 在学証明書</p> <p>専門士取得（見込）証明書</p>	<p>出身学校長（大学及び短期大学においては学長又は学部長）が作成したもの。 ただし、「出願資格（3）又は（5）」に該当する者は、次の証明書を提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「出願資格（3）」に該当する者は、専門士取得（見込）証明書又は修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書。</li> <li>「出願資格（5）」に該当する者は、在学証明書。</li> </ol>
<p>TOEIC Listening &amp; Reading 又は T O E F L の ス コ ア シ ー ト 原 本 と 写 し</p>	<p>下記の①、②、③、④いずれかの原本及び写し</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>TOEIC Listening &amp; Reading 公開テストの Official Score Certificate（公式認定証）</li> <li>TOEIC Listening &amp; Reading –IP（団体特別受験制度）のスコアレポート</li> <li>TOEFL-iBT の Examinee Score Report（受験者用控えスコア票）</li> <li>TOEFL-PBT の Examinee Score Report（受験者用控えスコア票）</li> </ol> <p>なお、スコアシートは入学試験実施日からさかのぼって2年以内に受験したものに限り。ただし、令和3年度入試における特例措置として、TOEICのスコアシートは「入学試験実施日からさかのぼって2年以上前に受験したもの」についても出願書類として認めます。</p> <p>出願書類を持参する場合には、これらのスコアシート原本はその場で返却いたします。また、郵送での出願の場合には、原本を受験票と共に返却します。（出願期間終了後、2～3日程度要します）</p> <p>※出願書類としてTOEFL iBT®テストのスコアシートを提出された方については、Test Date スコアのみを出願スコアとして利用します。（My Best™スコアは利用しません）。</p> <p>※郵送での出願において、スコアシートの返送を簡易書留で希望する場合には、694円分の切手を受験票送付用封筒に貼付してください。</p>
<p>振替払込受付証明書 （ 検 定 料 ）</p>	<p>30,000円（納入期限：令和2年7月28日（火））</p> <p>【納入方法】</p> <p>ア 別添の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を最寄りの金融機関に持参して納入してください。郵便局、銀行、信用金庫、農協など全国の金融機関窓口で納入できます。</p> <p>イ 振替払込受付証明書と振替払込請求書兼受領証は、金融機関の受領印がある事を確認の上、受け取ってください。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>『振替払込受付証明書（お客さま用）』は、他の出願書類と併せて「入学願書提出用封筒」に封入し提出してください。 なお、『振替払込請求書兼受領証』は本人の控えですので、提出する必要はありません。受験票が手元に届くまで大切に保管しておいてください。</p> </div> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>必ず金融機関の窓口にて納入してください。 ※ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。</li> <li>振込時の振込手数料は、振込人負担となります。</li> <li>払込用紙（5枚綴りの専用紙）の「通信欄」、「ご依頼人」等欄の「No.」は、受験番号ではありません。</li> <li>入学願書を受理した後は、振込済の検定料は返還できません。 ただし、検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、検定料の返還請求ができますので、下記（3）「出願書類等の提出先」に申し出てください。なお、返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。</li> </ol>
<p>住 民 票 （外国人留学生のみ）</p>	<p>外国人留学生は、市区町村長から交付された在留資格及び在留期間が明記されたものを提出してください。</p>

受験票等送付用封筒	本学部所定の封筒に、速達郵便切手384円を貼付し、受験票を受け取ることが可能なあて先（住所、氏名、郵便番号）を記入してください。 （団地、アパート等名、棟、号も記入してください。）
宛 名 票	本学部所定の用紙に、合格通知書及び入学手続き書類を受け取ることが可能なあて先（住所、氏名、郵便番号）を記入してください。 （団地、アパート等名、棟、号も記入してください。）

(3) 出願書類等の提出先

茨城大学工学部入試係

〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

電話 0294-38-5223

### 3. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験、TOEIC Listening & Reading 又は TOEFL のスコア及び学業成績証明書の結果を総合して判定します。

なお、学力試験科目のうち一つでも受験しなかった者は、合格者判定の対象とはなりません。

#### 学力試験教科・科目

学 科	試 験 科 目		
機械システム工学科	英語 (注) 1	数学 ・微分積分 ・線形代数 ・微分方程式 （ラプラス変換を含む） ・複素解析学	工業力学
電気電子システム工学科			基礎科目 （電気磁気学・電気回路）
物質科学工学科			理科2科目(注)2 （化学、物理、生物）
情報工学科			情報処理 （ハードウェア・ソフトウェアの基礎）
都市システム工学科			構造力学

(注) 1. 英語は筆記試験を行わず、TOEIC Listening & Reading または TOEFL のスコアを利用します。換算方法は以下のとおりです。

#### [TOEIC Listening & Reading]

① 700点以上の場合：換算点＝満点

② 700点未満の場合：換算点＝（満点）×（TOEIC Listening & Reading のスコア）／700

#### [TOEFL]

TOEFL-PBT のスコアを以下の計算式にて TOEIC Listening & Reading スコアに換算後、TOEIC Listening & Reading のスコアと同様の方法で換算点に計算。

（TOEIC Listening & Reading のスコア）＝（（TOEFL-PBT のスコア）－296）×2.874

TOEFL-iBT のスコアは TOEFL 「Score Comparison Table」に基づき TOEFL-PBT のスコアに換算し、上記と同様な方法で換算点を計算。



※出願書類として TOEFL iBT®テストのスコアシートを提出された方については、Test Date スコアのみを出願スコアとして利用します (My Best™スコアは利用しません)。

(注) 2. 「化学 (物理化学、無機化学、有機化学)」、「物理 (力学、電磁気学)」、「生物 (生化学、分子生物学)」のうち、出願時に届け出た2科目について解答することになります。

#### 4. 配点

コース	学科	学業成績 証明書	英語	数学	専門科目	合計
昼間 コース	機械システム工学科	50	100	100	200	450
	電気電子システム工学科	50	100	100	200	450
	物質科学工学科	50	100	100	200	450
	情報工学科	50	100	100	200	450
	都市システム工学科	50	100	100	200	450

#### 5. 選抜期日及び試験場

期 日	試 験 場	区 分	時 間
8月8日 (土)	茨城大学工学部 日立市中成沢町4-12-1 (日立キャンパス)	数 学	10:00 ~ 11:30
		専 門 科 目	12:30 ~ 14:00

#### 6. 合格者の発表

合格者については、令和2年8月26日 (水) 13時に本学工学部構内に合格者の受験番号を掲示するとともに、本人あてに合格通知書等を速達郵便で送付します。

なお、本学工学部ホームページ上【<http://www.eng.ibaraki.ac.jp/>】でも合格者の受験番号を発表します (発表当日の14時以降予定)。ただし、ホームページ上での合格者発表は情報提供の一環として行う補助的なものですので、本学工学部構内で行われる合格発表または、合格通知書にて確認してください。

- (注) 1. 合格者発表に関する電話等による照会には、一切応じておりません。  
2. 合格電報等は取り扱っておりません。  
3. 不合格者本人には、選考結果を通知しておりません。

#### 7. 入学確約書の提出

合格者は、入学確約書を令和2年9月9日 (水) までに提出してください。

なお、やむを得ない事情により入学することができなくなった場合には、「編入学試験辞退届」(様式は任意)を上記の期日までに提出してください。

## VI. 注意事項

1. 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
2. 出願後は、記載事項の変更はできません。

3. 出願書類受理後は、出願書類を返却しません。
4. 出願書類の記載と相違する事実が判明した場合は、受験を許可しないことがあります。また、合格者発表後や入学後でも、合格あるいは入学を取り消すことがあります。
5. 受験の際の宿泊を希望する場合は、本学では取り扱いませんので、下記に直接申し込んでください。

茨城大学受験宿泊相談センター日立支部

〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1 電話 0294-37-4610

## VII. 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある者で、受験上又は修学上配慮を必要とする者は、令和2年6月12日（金）までに茨城大学工学部入試係にご相談ください。

相談は志願者本人、保護者及び担任教員等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

### (1) 受験上等配慮申請書の提出方法及び提出期限

相談の結果、配慮の必要が予想される場合は、次の作成様式を参考に「受験上等配慮等申請書」を作成し、医師の診断書を添えて、令和2年6月17日（水）までに提出してください。

なお、期限までに提出できなかった者は、早急に茨城大学工学部入試係まで連絡してください。

### (2) 受験上等配慮内容の決定

提出された書類により、受験上及び修学上の配慮について関係部署と相談（必要な場合は、本学において、当該志願者又は保護者もしくはその立場を代弁し得る出身学校関係者との面談等を行うことがあります。）のうえ配慮内容を決定し、受験上等配慮申請者に通知します。

なお、配慮内容等の協議、また配慮を講じるにあたり、本学の関係する教職員等に個人情報通知されることとなりますので、申請にあたってはあらかじめご了承ください。

### (3) 連絡及び提出先

茨城大学工学部入試係

〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

電話 0294-38-5223

作成様式（A4判縦により作成してください。）

	令和 年 月 日
茨城大学工学部長 殿	
申請者氏名	
<b>受験上等配慮申請書</b>	
令和3年度茨城大学工学部3年次編入学試験を受験するにあたり、 下記のとおり配慮の申請をします。	
記	
1. 氏 名	年 月 日生（ 歳）男・女
2. 卒業（見込）学校名	年 月 日卒業（見込）
3. 住 所 〒	電話（ ） —
4. 志望学科	
5. 受験上で希望する配慮内容及び理由	
6. 修学上で希望する配慮内容及び理由	
7. 出身学校での就学状況（出身学校関係者等が具体的に記入）（記入者氏名・印）	
8. 添付書類	

## Ⅷ. 茨城大学入学者選抜試験における災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除の特別措置について

茨城大学では、災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、本学入学者選抜試験の出願に際し、入学検定料免除の特別措置を実施いたします。

詳細については、本学ホームページ【<http://www.ibaraki.ac.jp/>】をご覧くださいか又は、茨城大学学務部入学課までお問い合わせ願います。

なお、この特別措置を希望される方は、出願期間の1週間前までに入学課までお問い合わせ願います。

茨城大学学務部入学課 電話 029-228-8064 F A X 029-228-8603

## Ⅸ. 入学手続等

### 1. 手続期間

詳細については、令和2年12月中旬頃に「入学手続書類」を送付するので、これにしたがって必要な書類等を準備し、入学手続期間内に入学手続きを行ってください。

### 2. 入学料及び授業料

(1) 入学料 282,000円

(2) 授業料(前期分) 267,900円 (年額 535,800円)

(注1) 入学手続きまでに入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び授業料が適用されることとなります。

(注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることとなります。

### 3. 入学時に納付いただくもの(予定)

(1) 入学料 282,000円

(2) 学生教育研究災害傷害保険+学研災付帯賠償責任保険(Aコース) 2,430円

(3) TOEIC(IP)テスト受験経費 3,500円

(4) 茨城大学教育研究助成会会費 10,000円

(5) 工学部後援会会費 6,000円

(6) 工学部同窓会会費 25,000円

### 4. 学費の免除及び徴収猶予(延納・月割分納)

#### 【学費の免除及び徴収猶予に関する重要なお知らせ】

2020年4月から、国の政策として、意欲ある子供たちの進学を支援するため、授業料・入学料の免除または減額と、返還を要しない給付奨学金の大幅拡充がされる新たな支援措置(新制度)が実施されることとなりました。

茨城大学では、この新制度を利用できる対象機関として、2019年9月に認定を受け、既に文部科学省のホームページにおいて、公表されているところです。

本学における学費免除は、この新制度に基づき実施することとなります。学費免除の申請にあたっては、原則、日本学生支援機構の給付奨学金の申請が必要となりますので十分にご注意ください。

国の施策「高等教育の修学支援新制度」(新制度)

文科省：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/hutankeigen/](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/)

JASSO：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/>

入学料については免除及び徴収猶予、また、授業料については免除及び徴収猶予(延納・月割分納)する制度がありますので、免除・徴収猶予等を希望する者は、入学料又は授業料を納入しないで、入学

手続前に下記の問い合わせ先に相談してください。

〈 入学料及び授業料の免除、徴収猶予についての問い合わせ先 〉  
茨城大学学生支援センター 電話 029-228-8067

#### (1) 入学料免除について

日本学生支援機構の給付奨学生となる資格を有する場合、日本学生支援機構の定める区分に準じた額で、入学料を免除する制度があり、入学料の全額、2/3額、1/3額を免除します。

日本学生支援機構の給付奨学金の採用は、入学者本人、家計支持者（父母がいる場合は父母とも）の住民税情報を基に決定されます。（ただし、他大学等で令和2年4月から開始される新制度による入学料免除を受けている場合は、対象外となりますのでご注意ください。）

なお、日本学生支援機構の給付奨学生となる資格を有しない場合であっても、入学前年（令和2年）の1月（入学前15か月）以降に、予期できない事由により家計が急変し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に緊急に支援の必要がある場合には、急変後の所得の見込みにより、要件を満たすことが確認できれば入学料免除の対象となることがあります。

また、収入基準等の要件を満たさず、日本学生支援機構の給付奨学生となる資格を有しない場合であっても、2011年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災した場合を対象とした、本学独自の被災学生に対する入学料免除があります。

家計急変による免除や本学独自の被災学生に対する入学料免除を希望される方は、事前に茨城大学学生支援センターまでご相談ください。

#### (2) 入学料徴収猶予について

経済的理由により入学料の納入期限（入学手続期間）までに納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合及び入学前1年以内に、学資負担者が死亡し、又は入学者もしくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入期限（入学手続期間）までに納入が困難であると認められる場合などに、本人の申請により選考の上、入学料の徴収を猶予する制度です。

#### (3) 授業料免除について

日本学生支援機構の給付奨学生となる資格を有する場合、日本学生支援機構の定める区分に準じた額で、授業料を免除する制度があり、授業料の全額、2/3額、1/3額を免除します。

日本学生支援機構の給付奨学金の採用は、入学者本人、家計支持者（父母がいる場合は父母とも）の住民税情報を基に決定されます。

なお、日本学生支援機構の給付奨学生となる資格を有しない場合であっても、入学前年（令和2年）の1月（入学前15か月）以降に、予期できない事由により家計が急変し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に緊急に支援の必要がある場合には、急変後の所得の見込みにより、要件を満たすことが確認できれば授業料免除の対象となることがあります。

また、収入基準等の要件を満たさず、日本学生支援機構の給付奨学生となる資格を有しない場合であっても、2011年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災した場合を対象とした、本学独自の被災学生に対する授業料免除支援があります。

家計急変による免除や本学独自の被災学生に対する授業料免除支援を希望される方は、事前に茨城大学学生支援センターまでご相談ください。

#### (4) 授業料徴収猶予（延納・月割分納）について

経済的理由により授業料の納入期限までに納入が困難であると認められ、かつ、学業優秀と認められる者、その他やむを得ない事情と認められる場合に、本人の申請により選考の上、授業料の徴収を猶予（延納・月割分納）する制度です。

### 5. 奨学金について

#### ア. 日本学生支援機構奨学金

返還を要しない「給付奨学金」及び、返還を要する貸与型の奨学金である、第一種奨学金（無利子）と第二種奨学金（有利子）があります。

なお、日本学生支援機構の給付奨学金に採用されることで、学費免除支援が受けられることとなります。奨学生に採用されるには、日本学生支援機構で定める、収入等の基準や、学力基準を満たしている必要があります。詳細は日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

日本学生支援機構 URL : <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

## イ. 地方公共団体及び公益法人等の奨学金

日本学生支援機構の他にも、地方公共団体や公益法人等の奨学団体がやっている奨学金制度があります。申請にあたっては、奨学団体ごとに定める募集資格等を満たしている必要があります。本学に案内のあった、募集内容については、学内の教務情報ポータルシステムを利用し、随時在学生向けに案内しています。

## ウ. 茨城大学における奨学金制度

本学では独自の奨学金制度を設けていますが、高等教育の修学支援に関する新制度の開始に伴い、現在支援内容の見直しを行っているところです。決定次第、本学のホームページで案内いたします。

茨城大学における奨学金制度 URL : <https://www.ibaraki.ac.jp/student/economicssupport/scholarship/>

## X. 既修得単位の認定及び編入学後の履修

1. 既修得単位の認定は、本学の定めるところにより、当該出身学校のカリキュラム及び成績を考慮して単位を認定します。  
なお、教育職員免許状（工業）の取得を希望する者は、免許科目として認定できる単位数に制限（高専の場合 10 単位まで）がありますので、入学後、事前に教務委員に相談をして履修計画を立ててください。
2. 編入学した者は 2 年以上在学し、本学所定の授業科目を履修することになります。  
卒業に必要な単位数の確認を希望される方は、工学部学務グループへご連絡ください。  
茨城大学工学部学務グループ 電話 0294-38-5009  
なお、基盤教育科目等履修のため 3 年以上在学しなければならない場合もあります。ただし、4 年を超えて在学することはできません（休学期間を除く）。
3. 機械システム工学科、電気電子システム工学科、物質科学工学科、都市システム工学科に編入学する者は、原則として希望するプログラムで指定された科目を履修することになります。

## XI. その他

### 1. 保険制度

学生教育研究災害傷害保険は、学生が教育研究活動中に、不慮の事故や災害に遭った場合の保険制度として、国公私立を含めた全大学生を対象とした全国的な保険制度です。

また、学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償が補償される制度です。

- |                   |      |            |
|-------------------|------|------------|
| (1) 学生教育研究災害傷害保険料 | 2 年分 | 1, 7 5 0 円 |
| (2) 学研災付帯賠償責任保険料  | 2 年分 | 6 8 0 円    |

### 2. 学生寮への入寮の申請手続き

工学部には男子学生寮（吼洋寮）及び女子学生寮（さくら寮）があります。入寮者は、家計状況等を総合的に勘案して選考を行い、決定します。

学生寮に入寮を希望する場合は、令和 2 年 1 2 月中旬頃に発送する「入学手続書類」の内容を確認の上、申請手続きを行ってください。

茨城大学工学部学務グループ

〒316-8511 日立市中成沢町 4-1 2-1 電話 0294-38-5011

### 3. 個人情報の取扱いについて

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に則り、本学入学者選抜に用いた個人情報については、入学者選抜に係る調査・研究等及び就学に係る用途にのみ使用し、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第 9 条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

## XII. 案内

### 茨 城 大 学 (<http://www.ibaraki.ac.jp/>)

#### 【アドミッションポリシー】

茨城大学では、以下の4つの能力と資質を有する多様な志願者に対して、適切な方法の選抜を行って入学者を決定します。なお、それらの内容の詳細は、学部・学科（課程・コース等）毎に異なります。

- ①（知識・技能）大学における専門分野の学修に必要な基礎学力を有していること
- ②（知的関心）自分の身近な事柄だけでなく、地域の事象、自然環境、国際社会、人間と多様な文化等の広い分野に対する知的関心を有していること
- ③（思考力・判断力・表現力）これまでの学習と生活において他者と共に課題解決をめざした経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
- ④（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）これまでの学習と生活において、多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

### 工 学 部 (<http://www.eng.ibaraki.ac.jp/>)

#### 『人と自然環境に調和した高度科学技術の実践をめざして』

科学技術は高度化し、しかも先端技術が世界に急速に普及しつつある現在、大学は、次世代の科学技術を支え、その進展について深く洞察できる人材を育成するとともに、人と自然環境に調和した独自の科学技術を創造し発信していかなければなりません。茨城大学工学部は、世界的視野で未来に向かってはばたく科学技術を創造する拠点として、絶え間ない前進を続けます。

#### 『構成』

平成30年度に学科改組を行い機械システム工学科、電気電子システム工学科、物質科学工学科、情報工学科、都市システム工学科の5学科となりました。

さらに学業研究を極めたい方のために、その後2年間の大学院博士前期課程、3年間の大学院博士後期課程があります。

#### 『世界と地域を結ぶ科学技術の拠点』

約12万㎡のキャンパスには、研究棟、講義棟、図書館、IT基盤センター、研究・産学官連携機構などの教育研究設備が整備されています。

近隣の大学等との単位互換制度、周囲の企業・公的研究機関の最先端の研究所で研究指導を受ける制度、これら研究所から客員教員を招く制度があり、産・学・官連携の拠点となっています。

海外の一流研究者を招いての講演会、国際シンポジウムが頻繁に開催され、世界レベルでの研究を行う上での刺激になります。さらに海外提携大学への留学も可能です。

#### 『JABEEに対応した教育』

全学科（物質科学工学科を除く）がJABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けており、卒業が国際的な標準を満たしていると認められます。

#### 【アドミッションポリシー】

##### 【入学者に求める能力・資質】

工学部では、世界的視野で未来に向かってはばたく科学技術を創造する拠点として絶えず前進しながら、工学系専門技術者として、人々と協働して課題解決をめざし、社会の持続的な発展に貢献し、地域の活性化に自ら進んで取り組む、高度科学技術を実践する人材を育成しています。

したがって、工学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

- ①（知識・技能）工学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
- ②（知的関心）工学及びその周辺分野における地域から地球に至るまでの様々な規模での社会の課題に対する幅広い知的関心
- ③（思考力・判断力・表現力）これまでの学習と生活において、工学について他者と共に課題解決をめざした経験及びそのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいはそれらを身に付けたいという意欲
- ④（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）これまでの学習と生活において、工学に関して多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験、あるいはそのような活動をしたという意欲

※各学科の教育内容及びアドミッションポリシーは、次のアドレスを参照してください。

【各学科の紹介及びアドミッションポリシー】(<http://www.eng.ibaraki.ac.jp/depart/index.html>)